

京都工芸繊維大学「KIT女性研究者支援」

京都工芸繊維大学は、工芸科学部1学部で構成される工科大であり、バイオ、材料、電子、情報、機械、環境などの先端科学技術分野から建築・デザインまでの幅広い分野を対象とした個性的な教育研究を展開しています。

「KIT男女共同参画推進センター」を中心に、女性研究者支援体制の充実や意識啓発活動を展開しながら、女性研究者の採用・登用・育成を強化し、女性の持つ傑出した能力や豊かな感性を十分に発揮できる機会を増加させることにより、大学運営や、教育研究活動を一層活性化させることとしています。

また、工科大としては女子学生の比率が高い本学の特性を踏まえ、女子学生のキャリアパスなど次世代研究者の裾野拡大にも取り組んでいます。

【推進のための取り組み】

研究活動とライフイベントの両立支援
男女共同参画に向けての意識啓発活動
女性研究者ネットワークの構築

【女性研究者限定公募の実施】

梅檀（SENDAN）プログラムによる女性講師、助教の公募（平成26年10月）

【具体的な活動】

研究活動とライフイベントの両立支援

- ・研究支援員制度
育児や介護期の研究活動支援のため、大学院生等を研究支援員として配置
- ・両立支援相談
女性研究者などが研究と生活を両立できるようライフイベント上の相談にコーディネーターが対応
- ・仕事と育児・介護の両立支援ガイドブックの発行（平成26年3月）
- ・ベビーシッター育児支援制度

男女共同参画に向けての意識啓発・情報発信活動

- ・KIT男女共同参画推進セミナーの開催
男女共同参画推進やワークライフバランス、理系のキャリアデザインなどをテーマに毎年開催
- ・男女共同参画に関する意識調査（平成25年7月実施）
- ・ホームページ等での情報発信
- ・ニュースレター等の発行
KIT男女共同参画通信 ニュースレターの発行（平成25年3月創刊、平成26年8月第5号発行）
活動報告書（平成24年度・平成25年度）の発行（平成26年8月）

女性研究者ネットワークの構築

- ・「KIT交流サロン」での女性教員交流会、ランチミーティングの開催

女性研究者の裾野拡大・次世代育成

- ・女性研究者の研究スタイルやキャリアヒストリーをホームページで紹介
- ・大学COC事業との連携で、女子中高生向け理系体験講座の実施（平成26年8月）

【女性教員・女子学生の在籍比率】

常勤教員のうち女性教員の比率は、平成24年度の9.5%から平成26年度は10.4%（ともに5月1日現在）と約1ポイント増加。また、女子学生の比率は平成26年5月1日現在、大学全体では25.7%。博士後期課程では31.6%で、平成24年度（27.3%）と比較すると4ポイント以上の増加。

【連絡先】 京都工芸繊維大学 KIT男女共同参画推進センター センター長 森迫 清貴（副学長）
TEL: 075-724-7757 FAX: 075-724-7757 E-mail: sankaku@kit.ac.jp
URL: <http://www.sankaku.kit.ac.jp/>